# 実施報告

# 第 50 回
# 全国高等学校・中学校
# 剣道（部活動）
# 指導者研修会

**令和 8 年 10 月 10 日（土）～12（月・祝）**
**日本武道館研修センター（千葉・勝浦）**

全国から 92 名が集まり、高等学校及び中学校における部活動の理解を深め、剣道の専門的な知識と技術の充実を図り、指導者の資質向上に寄与することを目的とし、研修会を実施しました。



**〔研修内容〕**
◇講義　教養講座「『剣道の理念』とともに」（真砂　威）
◇実技　実技指導法：礼法、基本動作（構え、足さばき、素振り、打突の仕方・打たせ方・受け方）から応用動作（しかけ技）
実技研修：切り返し、打込稽古、掛かり稽古、班内回り稽古、指導稽古（地稽古）
日本剣道形・木刀による剣道基本技稽古法
実技研修：切り返し、打込稽古、掛かり稽古、班内回り稽古、指導稽古（地稽古）、追込打ち
実技指導法：応用動作（しかけ技・応じ技）
実技研修：切り返し、打込稽古、掛かり稽古、班内回り稽古、指導稽古（地稽古）、追込打ち
◇実技・講習　審判法
◇討議　体罰防止研修・情報交換会

**〔特別講師〕**
真 砂　威　範士八段　全日本剣道連盟会長

**〔講　師〕**
松田　勇人　範士八段　全日本剣道連盟常任理事・指導委員会委員長、奈良県剣道連盟副会長兼専務理事
山中　洋介　範士八段　全日本剣道連盟評議員、鳥取県剣道連盟副会長
高村　克人　範士八段　全日本剣道連盟社会体育指導委員会委員、兵庫県剣道連盟専務理事
関川　忠誠　範士八段　拓殖大学紅陵高等学校非常勤講師外部指導者
土 屋　勝　教士八段　福島県剣道連盟副会長
林　佐登美　教士八段　中央学院高等学校教諭
石原　和彦　教士八段　神奈川県立生田高等学校総括教諭
渡邉誠一郎　教士八段　千葉県立千葉東高等学校保健体育科教諭　千葉県剣道連盟事業委員
吉田　一秀　教士八段　浪速高等学校・中学校上席指導教諭
湯 澤　寛　教士八段　全日本学校剣道連盟理事、秋田県剣道連盟理事長
森田　智裕　教士八段　大東文化大学非常勤講師
今里　学　教士八段　全国高等学校体育連盟剣道専門部副部長、神奈川県立荏田高等学校総括教諭
玉田　晋作　教士八段　全国高等学校体育連盟剣道専門部副部長、徳島文理高等学校教諭
土﨑祐一郎　教士七段　全国高等学校体育連盟剣道専門部部長、東京都立豊多摩高等学校副校長
井上　孝　範士八段　全日本学校剣道連盟理事、香川県剣道連盟常任理事
安 藤　守　教士八段　神奈川県剣道連盟理事、横浜市立都田中学校部活動指導員
前川　勝　教士八段　私立浅野中学校・高等学校教諭、神奈川県学校剣道連盟副会長兼理事長
阿部　始郎　教士八段　兵庫県剣道連盟師範、兵庫県中学校体育連盟剣道部長
茂木　良文　教士八段　群馬県太田市立城西中学校校長、群馬県学校剣道連盟会長
山下　克久　教士八段　日本中学校体育連盟剣道競技部長、全日本学校剣道連盟理事

**〔助 講 師〕**
植木　伸広　教士七段　全国高等学校体育連盟剣道専門部専門委員長、東京都立小金井北高等学校主幹教諭
森下　将臣　七段　全国高等学校体育連盟剣道専門部事務局長、東京都立日比谷高等学校主任教諭
加藤万一朗　七段　関東高等学校体育連盟剣道専門部事務局員、東京都立板橋高等学校主幹教諭
陣野　俊彦　五段　全国高等学校体育連盟剣道専門部事務局員、東京都立桜修館中等教育学校主任教諭
木村　孝治　教士七段　東京都中学校体育連盟剣道競技専門部顧問、八王子市立城山中学校　校長
山嵜　龍一　教士七段　東京都中学校体育連盟剣道競技専門部部長、江戸川区立小松川中学校副校長
吉永　哲男　教士七段　東京都中学校体育連盟剣道競技専門部副部長、穎明館中学校教諭

# 参加者の感想（抜粋）



実技研修（基本動作の確認）



日本剣道形（小太刀一本目）



木刀による剣道基本技稽古法



体罰防止研修・情報交換会

「3 日間の研修を通して、自分が分かっているつもりになっていたこと、まだまだ勉強不足だったことなどを多く学ぶことができました。特に、稽古や形、審判のときの所作や礼儀作法ができているつもりで、いい加減になっているところがいくつかあることに気がつくことができました。指導者として、生徒の前に立つ以上、最低限の所作や礼儀作法をまず自分が正していきたいと思いました」

「自分自身の剣道を更に磨いていくためにも、改めて高段者の先生方に掛かっていく大切さを学びました。今回の研修を通して、高段者の先生方にかかっていく意義としては、技術だけを学ぶことだけではなく、先生方の「気」に触れて、その気を自分の剣道に取り込むことなのだと痛感しました。今後は指導者だから、生徒からかかってきて当然だと勘違いしないで、その『気』を持って生徒と対峙して、『気』を分け与えていける指導者になっていきたいと感じました」

「この研修の中で私がまず感じたのは、正しい剣道を生徒たちに教えるためには、自らが正しい剣道を会得すべく努力をしなければならないということです。講習の中で初めて知ったこともありましたし、知識としては理解していても自分が体得できていなかったことも多く見つかりました。自分が稽古に励むことは、自らのためだけでなく、剣道を後世に正しく残していくためにも必要であると自覚でき、身が引き締まる思いがしています」